

# 第2次美浜町農業基本計画

～美浜町農業がめざす姿と四つの戦略～



令和2年3月

美 浜 町

# 目次

計画策定の趣旨	2
第1次美浜町農業基本計画の成果	3
第1次美浜町農業基本計画から見た課題	4
二つの基本理念と四つの戦略	6
計画体系図	7
基本理念とそれを実現するための四つの戦略	8
戦略①『創』 地域を支える人創り	9
戦略②『絆』 未来に絆ぐ経営体の育成	10
戦略③『集』 みんなが集うむらづくり	11
戦略④『美』 美し農産物の魅力づくり	13
計画推進体制	14
計画推進にかかるスケジュール	15
巻末資料	16
第2次美浜町農業基本計画策定委員会 委員・事務局員	20

## 計画策定の趣旨

農業は、国民に安定的な食糧を供給することを目的とした産業として、農業者の働く場や所得確保の源泉となり地域の経済を支えています。同時に、生態系や自然環境・文化を保全し、次代を担う若者・子どもたちに農と食の大切さを教える役割があり、農地が適正に管理され農業が維持・発展することは、私たちにとっての豊かな暮らしと農村社会の振興に貢献します。本年4月に国が策定する「食料・農業・農村基本計画」においても、食料・農業・農村の持続性を高めながら、農業の成長産業化を進める「産業政策」と、多面的機能の発揮を図る「地域政策」を車の両輪として進めるという考え方が示されており、冒頭で述べた農業の捉え方は、今後ますます重要になると考えられます。

本町では平成27年に、『生きがいきづくり・むらづくり農業』（農村振興型農業）の実現と『強い農業・もうける農業』（利益追求・経営型農業）の育成・発展」という二つの基本理念を掲げた「美浜町農業基本計画」を策定し、事業を展開しました。その結果、令和元年までの5年間に、国や県の農業施策の推進や水稲と園芸などの複合経営の推進、大規模園芸施設の整備などにより、新規就農者の確保や流通販売額の拡大等が図られました。また、地域の実情・特色に応じた施策を展開したことにより、「人・農地プラン」に基づく集落での話し合いや中山間地域の農地の保全、遊休農地発生防止など、地域農業の発展と農村振興が図られました。

しかしながら、担い手の高齢化や農業労働力の減少、地域農業に対する意識の低下など本町の農業を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあります。このような状況のなか、本町が抱えている農業課題や地域課題を踏まえながら、着実に農業振興を図っていく必要があります。

そこで、第2次美浜町農業基本計画の策定にあたっては、前計画で示した二つの基本理念を踏襲しつつ、5年後（令和6年度）を見据えた本町の農業の姿とそれを実現するための方策について、様々な立場からのご意見をいただき、それを基に取りまとめました。

### 【計画策定期間】

令和2年度～令和6年度

## 第1次美浜町農業基本計画の成果

前計画では、「地域の農業・農村の保全・振興」「農業経営体の支援・育成」「町の状況・特色に応じた農業の活性化」「地産地消の推進・農作物の販路拡大」「自然環境と安全・安心に配慮した農業の推進」「農業サポートセンター（仮称）の創設・運営」の6つの戦略を掲げ、令和元年度までの5年間で、以下のとおり成果を上げてきました。

### ◎前計画の主な目標の達成状況

		H26年度基準	R元年度目標	R元年度実績
◎新規就農者数		0人	3人	3人
◎ハウス導入数	小型	41棟	56棟	79棟
	大型	0棟	1棟	4棟
◎市民農園の開設		—	計画期間中の開設	H29年度開設 (全54区画)
◎地産地消の推進（学校給食）		900千円	1,350千円	1,852千円
◎飼料作物等の推進		28ha	35ha	35ha
◎乳牛飼育頭数		34頭	50頭	44頭
◎農業サポートセンターの運営		—	—	1,514件 (窓口相談延件数)

## 第1次美浜町農業基本計画から見た課題

第2次美浜町農業基本計画を策定するにあたり、第1次美浜町農業基本計画の検証をした中で見えてきた課題は下記のとおりです。

### 【戦略1 地域の農業・農村の保全・振興】

新規就農者を3名確保でき、機械購入費を支援することで小規模農家等の持続的な営農活動が図れました。また、「人・農地プラン」での話し合いを継続した結果、農地中間管理事業を活用した農地集積が図れました。しかし、集落営農組織の立ち上げには至らず、また、水稻担い手の高齢化や園芸への転換を推進するためには、更なる新規就農者の確保・育成が必要です。

### 【戦略2 農業経営体の支援・育成】

大規模園芸ハウスや小型園芸ハウスの支援により、JAを通じた園芸品目市場流通額が増加し経営の多角化や複合経営を推進できました。しかし、依然として水稻主体の当町においては圃場の大規模化や園芸の団地化を進め、作業の省力化やコスト削減を図る必要があります。また、新たな労働スタイルや6次化、農商工連携を推進する必要があります。

### 【戦略3 町の状況・特色に応じた農業の活性化】

市民農園や農福連携を図った農園の支援・整備ができました。また、有害鳥獣捕獲頭数についても年々減少し、それに伴い被害状況も減少しています。しかし、集落営農組織の新設や女性農業者が活躍できる場の提供ができなかったため、地域リーダーの確保や女性が農業へ参画しやすい仕組みが必要です。

### 【戦略4 地産地消の推進・農産物の販路拡大】

町内産農作物の給食センターへの出荷は年々増加しており、着実に地産地消の推進が図られています。また、東京にある美浜町ゆかりの店などに出荷するなど販路拡大が図られ、キューブ米やPR袋の作成により美浜ブランドを発信することができました。しかし、道の駅やこるぱの直売所などへの安定出荷のためには、生産者・生産数量を増やす取り組みが必要です。併せて、美浜ハートフル朝市の会などの既存組織について、規模拡大等を検討する必要があります。

### 【戦略5 自然環境と安全・安心に配慮した農業の推進農産物の販路拡大】

飼料作物（飼料用米、WCS等）の生産を推進したことで作付面積も増加傾向にあり、わら利用による耕畜連携も図られました。飼料作物作付により生産調整が図られ、交付金を活用した所得向上も図られました。しかし、新規畜産施設の整備にはつながっておらず、畜産業振興のためには頭数を増やす施策が必要です。

### 【戦略6 農業サポートセンターの創設・運営】

美浜町農業サポートセンターを創設・運営し、地域や農業者の全般的な窓口対応、市民農園の管理・運営も行っています。また、園芸指導員を中心に園芸教室、現地指導、土壌分析・肥培管理の助言を実施するとともに、園芸・果樹等の新しい取り組みに対してサポートしています。今後も園芸指導員を中心に、更なる地域農業の発展を担う組織として継続する必要があります。

第1次美浜町農業基本計画の6つの戦略に基づき検証し、その結果を第2次美浜町農業基本計画の戦略に反映させ、美浜町の農業の振興を図ります。

## 二つの基本理念と四つの戦略

第2次美浜町農業基本計画では、以下に示した第1次美浜町農業基本計画の二つの基本理念を踏襲しつつ、施策の展開にあたっては、国や県の方針を尊重し、美浜町の現状や特徴を踏まえた取り組みを行い、検証した課題を解決・実現するため四つの戦略を設定しました。

### 〈基本理念Ⅰ〉

## 「農業の多面的機能の発揮、豊かな暮らしと農村社会を育むための 『生きがいきづくり・むらづくり農業』（農村振興型農業）の実現」

農業・農村の維持・振興には人財（人材）が必要であると位置づけ、「人・農地プラン」による集落での話し合いや新規就農者・担い手の確保・育成に努めます。また、地域に応じた営農モデルに沿った取り組みを支援することで農地の保全に努めます。

### 〈基本理念Ⅱ〉

## 「農業の持続的な発展に貢献する 『強い農業・もうける農業』（利益追求・経営型農業）の育成・発展」

担い手不足の中、農業経営者の省力化を推進するために、スマート農業・圃場の大規模化を進めます。また、農業人材育成拠点施設を整備し、道の駅と連携した農産物の安定供給・販路の拡大、園芸団地の整備による経営型農業の振興を図ります。

## 計画体系図

### 美浜町農業基本計画

国や県が示している農業の方向性を踏まえつつ、町農業が抱えている課題と地域の特性を考慮しながら、今後5年間に於いて農業を産業として発展させると同時に、農村や農地の多面的な役割を保全し、農業・農村の振興を果すための施策

#### 基本理念 1

農業の多面的機能の発揮、豊かな暮らしと農村社会を育むための『**生きがいづくり・むらづくり農業**』（農村振興型農業）の実現

#### 基本理念 2

農業の持続的な発展に貢献する『**強い農業・もうける農業**』（利益追求・経営型農業）の育成・発展

戦略③『**集**』  
みんなが集う  
むらづくり

戦略①『**創**』  
地域を支える  
人創り

戦略④『**美**』  
美し農産物の  
魅力づくり

戦略②『**絆**』  
未来に絆ぐ  
経営体の育成

## 基本理念とそれを実現するための四つの戦略

### 戦略①「創」

#### 地域を支える人創り

- ① 新規就農者・担い手の確保・育成
- ② 農業人材育成拠点施設の創設・運営
- ③ 地域コーディネーターの発掘・醸成
- ④ 女性農業者の参画促進

### 戦略②「絆」

#### 未来に絆ぐ経営体の育成

- ① 経営基盤の整備支援
- ② 安定した農業経営の推進
- ③ 地域農業の維持発展を担う労働力の確保

### 戦略③「集」

#### みんなが集うむらづくり

- ① 農業・農村における合意形成の促進
- ② 農地保全のための持続可能な環境づくり
- ③ 有効的な農地利用の推進
- ④ 美浜町農業サポートセンターの活動推進

### 戦略④「美」

#### 美し農産物の魅力づくり

- ① 道の駅直売所と連携した地産地消の推進
- ② 関係機関と連携した食育・教育の推進
- ③ 特色ある農産物や伝統野菜の高付加価値化

戦略①と戦略④は町の特性も踏まえたうえで、「生きがいづくり・むらづくり農業」「強い農業・もうける農業」二つの基本理念に共通する施策として、戦略②は「強い農業・もうける農業」に関する施策として、戦略③は「生きがいづくり・むらづくり農業」に関する施策として位置づけられるものです。

## 戦略① 「創」

# 地域を支える人創り

農地の有効利用のきっかけとなる多様な担い手を育成・確保するため、町内外からの新規就農者を受け入れる農業人材育成拠点施設の整備や定住化の推進、女性や定年退職者の営農参画の促進など町の状況や特色に応じた支援策を講じます。

### 1 新規就農者・担い手の確保・育成

農業経営体や法人就職者の人材（人材）を育成し、担い手の確保に努めます。また、町内での定住化を促進するため、農地や空き家のあっ旋、地域住民とのコミュニティ形成等、円滑な就農を支援します。

さらに、関係機関と連携し、町内の担い手農家（里親農家）での研修受入れを推進します。あわせて、初期投資の費用を抑えるために、農業機械や施設等の第三者継承の仕組みを整備し担い手の確保に努めます。

### 2 農業人材育成拠点施設の創設・運営

関係機関と連携し、農業経営に必要な不可欠な技術力・経営力・販売力を学ぶ研修拠点を整備します。また、実践的な研修を重ね、就農への関心や意識向上、地域への定着を図ります。

### 3 地域コーディネーターの発掘・醸成

「人・農地プラン」の実質化に向けた話し合いや、集落営農組織・農作業受託組織等の立ち上げにおいて、地域で中心的な役割を担う人の存在は不可欠です。そのため、地域コーディネーターの発掘に向けた機会や仕組みを検討し、地域農業の維持・発展につなげます。

### 4 女性農業者の参画促進

女性特有のネットワーク力や消費者・生産者目線などを農業分野で生かせるよう、女性が意欲的に活躍できる仕組みを検討し、農業経営に参画できるよう努めます。



## 戦略② 「絆」

# 未来に絆つなぐ経営体の育成

認定農業者や地域を支える農業者に対して、国の政策や県の基本計画による農業施策を補完しながら、町の特性や課題に沿った支援対策を講じます。また、スマート農業や圃場の大規模化による省力化を推進し労働力不足を解消します。

※「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」を基本として対応します。

### 1 経営基盤の整備支援

当町の農業を産業として支える農業者に対し、機械・施設導入を支援し、スマート農業や機械・施設リース事業について検討を行い、作業や初期投資の軽減に努めます。また、担い手への農地集積に合わせ、圃場の大規模化や園芸の団地化を進めるとともに、機械の共同利用やコスト削減に努め、効率的な農業振興を図ります。

### 2 安定した農業経営の推進

飼料作物（飼料用米、WCS等）の生産拡大と併せ、耕畜連携を推進します。また、地域の特性に合った園芸作物を生産することにより、産地交付金等を活用した所得の確保を目指します。あわせて、畜産業振興のために、規模拡大に向けた支援を行います。

### 3 地域農業の維持発展を担う労働力の確保

農業現場において、恒常的に人材が不足しているだけでなく、収穫期等短期間での労働力の確保も困難な状況となっています。地域農業の維持発展のためには、農作業の閑散期と商工業種の繁忙期を利用した半農半Xなど、新たな労働スタイルの構築や農商工・福祉と連携した仕組みを検討し、農業経営の効率化や安定した農業経営を図ります。



## 戦略③ 「集」

# みんなが集うむらづくり

各集落で「人・農地プラン」による話し合いで農地への無関心や草刈りなどの農業の課題等を地域とともに考え、農業・農村に対する相互理解を深め、地域の特性に合ったむらづくりを推進します。また、農業サポートセンターの活動をさらに推進し、これまで以上に地域農業を支えていきます。

### 1 農業・農村における合意形成の促進

「人・農地プラン」の実質化（将来的な農地利用のマッチング等）に向け、美浜町農業委員会や関係機関の連携・協力のもと、各集落での更なる話し合いによる合意形成に対し、総合的な助言・指導を行います。

### 2 農地保全のための持続可能な環境づくり

地域全体の農地等の維持・管理を強化するために、多面的機能支払事業や中山間地域等直接支払事業等の各種交付金を活用し、地域活動の取り組みを支援します。また、小規模農家や兼業農家への支援策について検討を行います。

鳥獣害対策については、適切な施設管理・駆除対策を徹底し、農地の保全に努めます。



### 3 有効的な農地利用の推進

地域の特性に応じた営農モデルを作成し、遊休農地や耕作放棄地等の復田対策も含めた有効的な農地利用を推進します。  
また、営農モデルに沿った地域活動の取り組みを支援します。

営農モデル	取り組み内容
集落営農型	集落の認定農業者と多面的機能組織や中山間直接支払組織などが集落営農組織を立ち上げることにより、土地持ち非農家も含め集落内全体で集落の農地保全を図ります。 例) 認定農業者＋多面的機能組織、認定農業者＋中山間直接支払組織
集落合併型	近隣の集落同士で合併し組織を立ち上げることで広域での農作業が可能となり、労働力の確保にもつながるため、耕作放棄地などの発生を抑制します。 例) 集落＋集落、認定農業者（個人）＋認定農業者（個人）
新規就農者受入型	集落で町外からの新規就農者を受け入れることにより、移住・定住者を増やし地域のコミュニティを盛り上げるだけでなく、空き家や耕作放棄地などの問題の解消を目指します。
大規模農業型	農地区画の大規模化や園芸団地の整備、AI や ICT などの機械を導入することにより、農作業の軽減や経費の削減を図ります。そのため、集落内での話し合いにより集積計画を作成します。
農地保全型	鳥獣害に強い果樹等を植樹したり、飼料作物（飼料用米やWCSなど）を作付けすることにより、遊休農地や耕作放棄地のない集落を目指します。

### 4 美浜町農業サポートセンターの活動推進

園芸指導員を中心に、園芸導入等に係る営農指導や相談窓口等、関係機関と連携し地域農業の取り組みを全力でサポートします。

## 戦略④ 「美」

## うま 美し農産物の魅力づくり

道の駅の整備を契機とし、消費者や町内飲食店にとって魅力ある農産物を提供するため、品質向上と安定出荷の体制づくりの強化及び販売意欲の醸成に取り組みます。さらに、町民に多くの町内産農産物を提供するため、関係団体との連携を図り地産地消の推進と6次化の取り組みに対する支援を行います。

### 1 道の駅直売所と連携した地産地消の推進

町内で展開される農産物の消費を推進するため、道の駅に設置される予定の農産物直売所や、「こるぱ」の直売所等を活用し、農業者の所得向上や地産地消を図るとともに、安定出荷のための生産数量拡大に努めます。



### 2 関係機関と連携した食育・教育の推進

福井県やJA等の関係機関と連携した幼少期からの食育や健康づくり、農業体験活動等を通じて、地域での食育活動を推進します。また、農業教育も大切であるため、保育園や小中学校でも関係機関と連携した活動を推進します。

### 3 特色ある農産物や伝統野菜の高付加価値化

地元農産物の付加価値を高めるため、特色ある農産物や伝統野菜の発掘・育成を進め、地域農業の活性化に努めます。また、地元農産物の6次化や農商工連携を図る者に対し、国や県などの補助制度も活用しながら、商品の開発に対する支援を行います。



# 計画推進体制

## 1 計画推進体制

計画初年度より計画に掲げる各戦略に対する地域、担い手農家、JA、行政等の役割を明確にし、アクションプラン（実行方策）を作成します。

## 2 基本理念の推進

基本理念に掲げる『生きがいづくり・むらづくり農業』の実現、『強い農業・もうける農業』の育成・発展を推進するためには、人材の確保・育成が必要なため、基本理念に直結する戦略1の施策を優先課題として取り組みます。

## 3 人・農地プランの実質化、実現に向けての取り組みを推進

地域農業の将来設計図となる「人・農地プラン」を地域ごとに見直し、地域の状況を分析し、課題を明確化するなどの作業を支援し、プランの実質化、実現に向けての取り組みを推進します。

## 4 担い手農家の営農方針、地域での役割を再確認

認定農業者の経営改善計画や地域の人・農地プランの内容をふまえながら、本計画の方向性や施策とのマッチングを図り、各農家の状況、将来像に合った経営強化及び地域での役割を支援します。

## 5 農地の活用状況を分析し、農業経営、地域農業の方向性を検討

各集落や担い手による農地の活用状況を分布図等により明確にし、営農計画や人・農地プラン等の計画づくりに活用して、効果的な農業振興を図ります。

## 6 計画推進委員会等による進捗状況の確認、計画の見直し

計画の進捗状況の確認や推進にあたっての課題の協議を定期的実施するとともに、町内外の農業情勢や国、県等の方針をふまえた計画内容の見直しを行うための計画推進委員会等を設置します。

## 計画推進にかかるスケジュール

年 度	実施計画	計画の推進・見直し
令和元年度	令和2年3月 「第2次美浜町農業基本計画」策定 ※基本計画…計画期間において町が取り組む農業施策の基本理念及び各種事業の方向性を示す戦略を定めたもの	
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画に基づき「アクションプラン」の作成</li> <li>※アクションプラン…基本計画実現のための具体的事業内容、スケジュール及び数値目標を定めたもの</li> </ul> →アクションプランに基づき補正予算計上 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業着手 (基本理念に沿った戦略1を最優先に実行)</li> <li>戦略1の進捗にあわせて戦略2から4に着手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画推進委員会の設置</li> </ul>
令和3年度	戦略全般について、地域（担い手、一般農家）、サポートセンター、県、JAと連携しながら事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度の事業予算化</li> </ul>
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画に基づいた「アクションプラン」の検証、見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画推進体制の検討、確認</li> <li>アクションプランの見直し</li> <li>年度の事業予算化</li> </ul>
令和5年度以降	見直した「アクションプラン」に基づき予算計上	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度の事業予算化</li> </ul>

# 巻末資料

## 〈農業者関連〉

### ▼町内の農家数

(単位：戸)

	総農家数	その内、 販売農家数	その内、 自給的農家数	土地持ち 非農家数
H12	854	575	279	
H17	796	471	325	515
H22	661	372	289	612
H27	560	294	266	649

(農林業センサスより)

### ▼町内の農業就業者数年齢（自営農業に主として従事）及び平均年齢

(単位：人・歳)

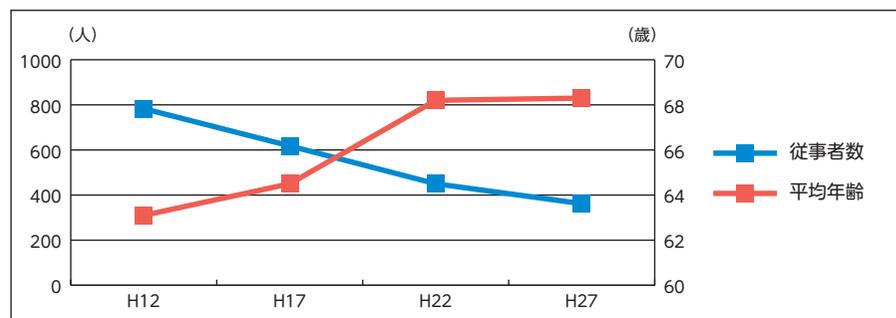
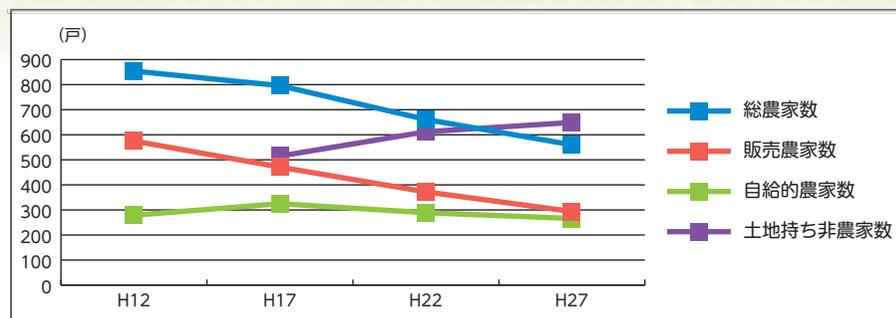
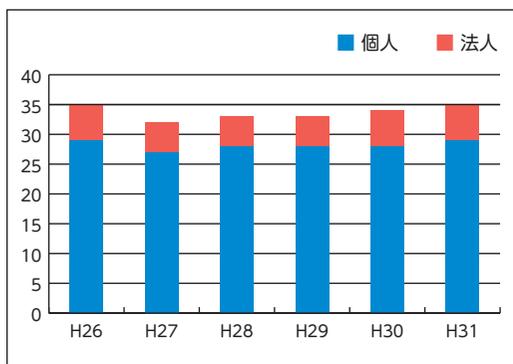
	従事者数	29歳 未満	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上	平均年齢
H12	783	37	27	35	89	257	338	63.1
H17	618	32	10	17	71	193	295	64.5
H22	450	3	5	6	42	128	266	68.2
H27	362	7	3	12	11	116	213	68.3

(農林業センサスより)

### ▼認定農業者の数

	個人	法人	合計
H26	29	6	35
H27	27	5	32
H28	28	5	33
H29	28	5	33
H30	28	6	34
H31	29	6	35

(美浜町産業振興課調べ)



### ▼町内の認定農業者の現状 (H31.3.31 現在)

認定農家数	地域別	平均組織人数	平均年齢	平均経営面積 (ha)
個人 26	東地区	10	64	10.29
	耳地区	11	64	5.07
	南地区	5	55	10.31
	北地区	0	—	—
法人 12	東地区	1	—	—
	耳地区	7	3.30	26.36
	南地区	4	10.30	29.18
	北地区	0	—	—

(美浜町産業振興課調べ)

## 〈農業経営体関連〉

### ▼単一経営・複合経営の経営体数（美浜町）

（単位：経営体）

	農作物を販売した農家数	単一経営農家									複合経営	複合経営農家の割合	
		合計	稲作	雑穀 いも 豆類	露地 野菜	施設 野菜	果樹類	花卉	酪農	肉用牛			
H12	539	524	513			1				8	2	15	2.78%
H17	414	397	383			1	1	2	1	7	2	17	4.11%
H22	344	324	313	2	1	1	1			3	3	20	5.81%
H27	264	249	242	1	2					1	3	15	5.68%

※単一経営…主位部門の販売金額が8割以上  
 ※複合経営…主位部門の販売金額が8割未満

（農林業センサスより）

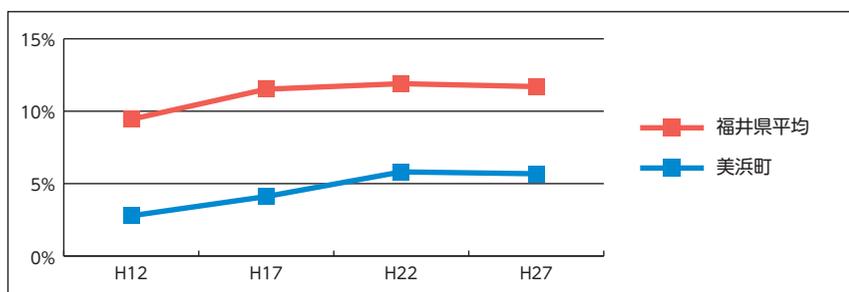
### ▼単一経営・複合経営の経営体数（福井県平均）

（単位：経営体）

	農作物を販売した農家数	単一経営農家													複合経営	複合経営農家の割合
		合計	稲作	麦類	雑穀 いも 豆類	工芸 農作物	露地 野菜	施設 野菜	果樹類	花卉	その他 作物	酪農	肉用牛	その他 畜産		
H12	30,251	27,395	26,242	189	53	53	117	119	309	144	52	50	30	37	2,856	9.44%
H17	24,557	21,727	20,473	262	37	16	179	125	338	162	34	41	29	31	2,830	11.52%
H22	18,753	16,522	15,499	96	36	9	153	132	339	131	45	24	30	28	2,231	11.90%
H27	14,745	13,020	12,065	83	36	1	187	135	318	104	27	19	25	20	1,725	11.70%

（農林業センサスより）

### 販売農家数に占める複合経営農家の割合



## 〈鳥獣害関連〉

### ▼有害鳥獣捕獲数

	シカ	イノシシ	サル	ハクビシン	アライグマ	ツキノワグマ	カラス	アオサギ	カワウ	合計
H26	1,650	500	95	90	13	2	240	4	3	2,597
H27	1,055	706	108	47	14	1	317	5	2	2,255
H28	809	469	168	44	7	1	292	5	4	1,799
H29	811	281	126	59	7	4	304	3	5	1,600
H30	656	280	109	21	4	2	332	4	4	1,412

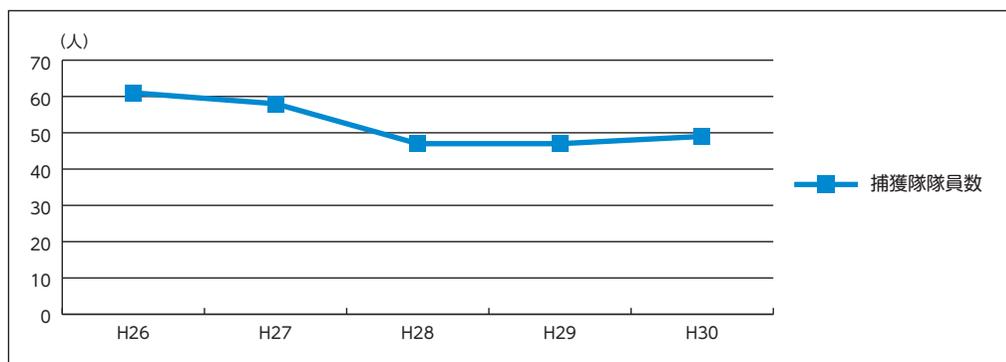
(美浜町産業振興課調べ)

### ▼猟友会美浜支部会員数

(単位：人)

	捕獲隊
H26	61
H27	58
H28	47
H29	47
H30	49

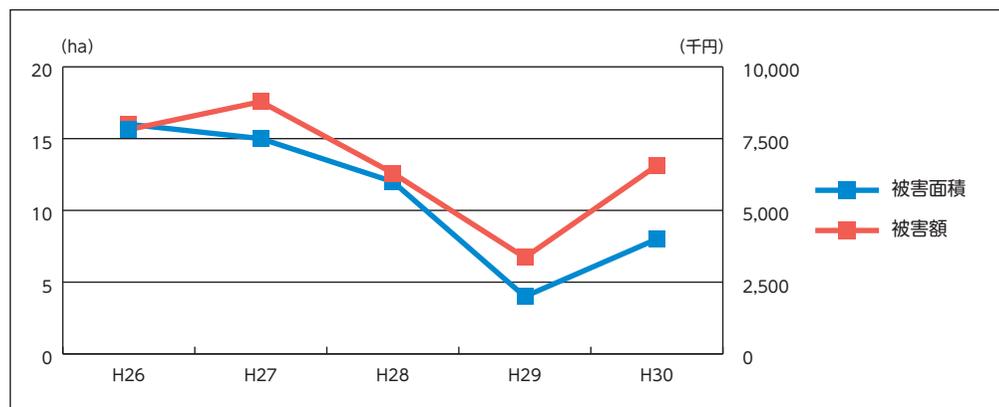
(美浜町産業振興課調べ)



### ▼鳥獣類による農作物の被害状況

	被害面積 (ha)	減収量 (kg/10a)	被害量 (t)	被害額 (千円)
H26	16	237.5	38	7,815
H27	15	260.0	39	8,787
H28	12	216.7	26	6,299
H29	4	350.0	14	3,359
H30	8	325.0	26	6,563

(NOSAI 福井調べ)

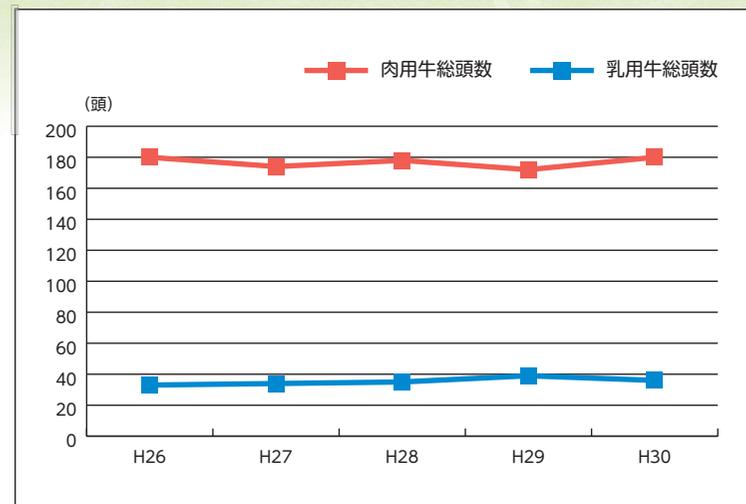


## 〈畜産業・堆肥化施設関連〉

### ▼美浜町・若狭町の畜産農家数・頭数の推移

調査年度	酪農家 戸数	肉用牛飼養 農家戸数	畜産農家 戸数	乳用牛 総頭数	肉用牛 総頭数	合計 総頭数
H22	4	7	7	99	234	333
H23	4	7	7	110	189	299
H24	2	5	5	73	192	265
H25	1	4	4	38	187	225
H26	1	4	4	33	180	213
H27	1	4	4	34	174	208
H28	1	4	4	35	178	213
H29	1	4	4	39	172	211
H30	1	4	4	36	180	216

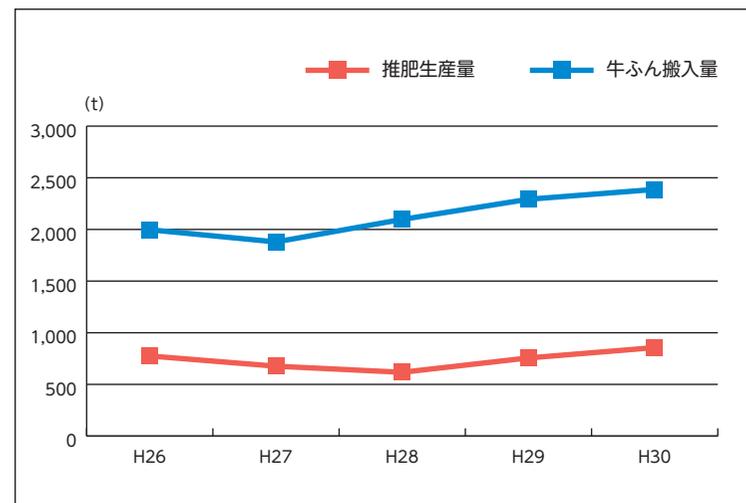
(美浜町産業振興課調べ)



### ▼エコクル美方堆肥化施設の牛ふん搬入量・施設稼働率・堆肥生産量の推移

年度	町別ふん搬入量 (t)			施設 稼働率	牛ふん堆肥搬出量 (t)		
	美浜町	若狭町	2町合計		美浜町	若狭町	2町合計
H22	2,785	867	3,652	67.1%	973	540	1,513
H23	2,519	741	3,260	59.9%	1,237	428	1,665
H24	1,871	731	2,602	47.8%	888	448	1,336
H25	1,405	743	2,148	39.5%	659	202	861
H26	1,308	689	1,997	36.7%	629	146	775
H27	1,207	672	1,879	34.5%	513	163	676
H28	1,229	868	2,097	38.6%	492	125	617
H29	1,237	1,055	2,292	42.1%	617	139	756
H30	1,284	1,103	2,387	43.9%	749	107	856

(美方環境衛生組合調べ)



## 美浜町農業基本計画策定委員会 委員・事務局員

### 〈委員〉

No	氏名 (敬称略)	備考
1	北川 太一 (委員長)	福井県立大経済学部教授
2	中村 博昭	美浜町農業委員会 会長 / 農事組合法人 松原生産組合 代表 (認定農業者・集落営農 / 水稻)
3	浅妻 弘	美浜町担い手協議会 会長 / 農事組合法人 おおやぶ愛耕会 代表 (認定農業者 / 水稻)
4	藤本 悟	美浜町議会議員 / 美浜町農業委員会 農地最適化推進委員
5	上野 禎知	認定農業者 / 水稻・そば
6	福田 新八	青年就農計画認定者・新規就農者 (施設園芸)
7	萱森 健太	青年就農計画認定者・新規就農者 (畜産業)
8	中瀬 博信	美浜町広域協定 事務局長 / 株式会社 ファイト 代表 (認定農業者 / 園芸・そば)
9	山路 俊彦	太田 enjoy 農楽舎 代表 / 兼業農家 (水稻・そば)
10	奥井 喜代栄	美浜町農業委員会 委員 / 女性農業者 (認定農業者 / 花卉)

### 〈事務局〉

No	氏名	所属等	備考
1	清水 政浩	福井県二州農林部 技術経営支援課	主任
2	中川 文雄	福井県園芸研究センター	ウメ・果樹研究グループ 主任研究員
3	仲谷 達夫	敦賀美方農業協同組合	みはま支店長
4	丸木 大助	美浜町産業振興課	課長
5	島田 貴志		課長補佐
6	山本 知也		主査
7	渡辺 純資		主査
8	大同 厚		主査
9	塩浜 善美	美浜町農業サポートセンター	所長

## 第 2 次美浜町農業基本計画

- 発 行：美浜町
- 発行年月：令和 2 年 3 月
- 編 集：美浜町産業振興課

〒 919-1192 福井県三方郡美浜町郷市 25-25

TEL 0770-32-6706 FAX 0770-32-6050

ホームページ <http://www.town.mihama.fukui.jp/>

E-mail [sangyo@town.fukui-mihama.lg.jp](mailto:sangyo@town.fukui-mihama.lg.jp)